

知事コメント

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が決定されたことを、大変嬉しく思いますとともに、「世界の宝」として認めていただいたことを誇らしく思います。

平成19年1月に世界遺産暫定一覧表に記載されて以来、長年にわたり、世界遺産登録を目指して、県民の皆様とともに歩んで参りました。この間、推薦書の取り下げや構成資産を除外するという苦渋の決断をいただくなど様々な曲折もあり、こうして、登録決定の瞬間を迎えられたことについては、感慨無量の一言に尽きます。

これもひとえに、本県選出国会議員の皆様方、県議会や資産所有者をはじめ、関係各団体並びに県民の皆様方のお力添えと、関係県市町のご努力の賜であり深く感謝申し上げます。

また、推薦書作成など、世界遺産登録実現のために格別のご尽力を賜ってまいりました、日本政府の皆様や専門家の方々など、関係の皆様にご心からお礼を申し上げます。

「潜伏キリシタン関連遺産」を確実に将来に引き継いでいくという大きな使命に、身の引き締まる思いであり、これからも国や関係県市町等と連携して、構成資産の保全とともに、構成資産の多くが点在し、人口流出や高齢化が進む離島・半島地域をはじめとした地域の活性化に取り組み、住む人に誇りを、訪れる人に感動を与えられるような世界遺産を目指してまいります。

【世界遺産委員会議場における知事スピーチコメント】

I am Houdou Nakamura, the Governor of Nagasaki Prefecture.

I am greatly pleased that the Hidden Christian Sites in the Nagasaki Region, treasures we received from our forebears, have been inscribed on the UNESCO World Heritage List.

The history of the Hidden Christians, I believe, contains a universal message of peace which is still relevant even today.

We will make every possible effort to preserve this heritage and share its history with people around the world. I hope it will become a source of pride for the people of Nagasaki while making a deep impression to the visitors who come to see it.

To conclude, I would like to extend my deep gratitude to all of you here and everyone who helped us through the nomination process, thank you very much.

【世界遺産委員会議場における知事スピーチコメント】の日本語訳

長崎県知事の中村法道と申します。

私の住む長崎地方に大切に受け継がれてきた、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録決定を大変嬉しく思います。

潜伏キリシタンが歩んだ歴史には、平和を願う今日にも通じる普遍的なメッセージがあると思います。

今後は、この資産の保全に全力を尽くすとともに、この歴史を世界の人々に伝え、住む人に誇りを、訪れる人に感動を与えられる資産を目指してまいります。

御出席の皆様とこれまでの過程に関わった全ての皆様に心から感謝申し上げます。有り難うございました。